

平成30年1月22日

行政常任委員会会議録

平成 30 年 1 月 22 日（月曜日）

午前 10 時 30 分開議

5 階 委員会室

◎日程

1 企画課

（１） 夕張市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について

◎出席委員（８名）

大	山	修	二	君
高	間	澄	子	君
本	田	靖	人	君
小	林	尚	文	君
今	川	和	哉	君
熊	谷	桂	子	君
君	島	孝	夫	君
千	葉		勝	君

◎欠席委員（０名）

【委員長挨拶】

（大山委員長）

それでは、ただいまから行政常任委員会を開催いたします。

本日の出席委員は 8 名全員であります。ほかに、議長が出席されております。

理事者側からは、両理事のほか、説明員として課長等が出席されることとなっております。

本日の委員会の進め方についてであります。報告案件が企画課からの 1 件であります。

報告の前に、富山理事から発言したい旨の申し出がありましたのでこれを許すことといたします。その後、企画課から報告を受け、これに対する質疑を行ってまいりたいと思いますが、そのように取り進めてよろしいでしょうか。

平成30年1月22日

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

異議がありませんので、そのように取り進めてまいります。

【理事挨拶】

(富山理事)

皆様、お疲れ様でございます。委員の皆様におかれましては、ご多忙の中、本委員会にご参集いただきまして、ありがとうございます。本日の行政常任委員会の開催に当たりまして、一言おわびを申し上げたいと思います。

本日報告させていただきます夕張市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更に関しましては、議会の同意が必要なことから、1月24日の第2回臨時市議会に上程させていただきたいと考えてございますけれども、本来であれば先週の早い段階で、事前に本委員会にご報告し、委員の皆様にご審議いただくべきところ、この手続きがおくれたため急遽、本日の行政常任委員会で報告することになりました。

今後は、このようなことが無きよう議会日程も踏まえた上で、確実に事務を進めてまいりたいと思っている所存でございます。

計画の一部変更に関する内容につきましては、所管の課長より報告させていただきますので、よろしくご審議のほど、宜しくお願いいたします。

以上です。

(大山委員長)

それでは、ただ今の発言に対して何かございますか。

(千葉委員)

おはようございます。今週26日に行政常任委員会が行われることは、理事もご承知だと思うのですが、今、説明があったのですが、本日、緊急に招集しなければならなかった理由等について、もしあればお願いしたいのですけれども。

(富山理事)

本来であれば、26日の行政常任委員会で報告できればよろしいのですが、過疎債の計画の知事の同意が、北海道知事の承認が24日の臨時市議会のほうに許可をいただかないと間に合わないということになってございまして、26日の行政常任委員会の報告ですと、日程的に間に合わないということになりましたので、申しわけないと思うのですが、26日ではなく本日の行政常任委員会にかけることとさせていただいた次第でございます。

(千葉委員)

はい、わかりましたのですけれども、17日の水曜日に、市長が臨時議会の

平成30年1月22日

告知をしているのですけれども、それまでに議案等として準備できなかった理由等についてお願いしたいのですけれども。

(富山理事)

今、委員のおっしゃるとおりですね 17 日のところに報告させていただければ本来であればよかったかなというところなののですけれども、事務的に失念をしてしまいましてですね、そこで載ることができなかったというところで、これはまことに行政側の事務の手落ちというか、そういう形になります。

この度は、本当に申し訳ございませんでした。

(千葉委員)

先ほど、富山理事からもありましたように、今後、このようなことがないように議会日程等も念頭において、今後仕事を進めていっていただきたいと思いますので、よろしくお願いいたします。

以上です。

(大山委員長)

ほかにございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

よろしいですか。

それでは、企画課より報告を受けてまいります。

【企画課】

1. 夕張市過疎地域自立促進市町村計画の一部変更について

(企画課長)

本日は、お忙しい中、急遽、行政常任委員会開催いただきまして、まことにありがとうございます。私からも、一言おわびを申し上げたいと思います。

皆さまのご予定とか、変更になった部分もあるかと思いますので、大変申しわけございませんでした。

それではですね、今回の報告事項につきまして説明を申し上げます。

資料 1 枚目、書いてございますけれども、平成 27 年度に策定いたしました本市の過疎地域自立促進市町村計画の一部変更に係るものでございます。今年度、過疎対策事業債による借り入れによって、歳入を賄う事業につきまして、対象事業を本過疎計画に盛り込む必要がございますので、配付させていただきました。

1 枚おめくりいただきますと、配付させていただいている資料の下線部分でございますけれども、各 1 番左の項目の区分、2 枚目産業の振興と書いてござ

平成30年1月22日

いますけれども、各区分に基づきまして事業の一覧を示しておる別表があるのですが、そこに今回、過疎事業債を充てる事業の起債を追記したというものでございます。全部で4事業追加しております。

この計画変更につきましては、北海道知事との協議を経た上で、議会の議決が必要とされているものでございます。今回、変更にかかる協議を、北海道庁のほうに行いましたのが、昨年の12月27日でございます。北海道知事への協議にかかる回答がございましたのが、1月12日ということで、今、富山理事のほうからもありましたが、過疎債の記載に当たっては、最後の定例の議会での予算変更ということもあるので、そこを目指すということもあり得たのですが、ちょっと過疎債の借り入れの手続きが、今週の本会議のところで議員の同意をいただかないと間に合わないということで、12月にこの北海道庁との協議が整いましたので、そもそも今週の本会議に上程させていただくには、かなり急を要する案件でございましたので、こういったちょっとおくれ、なおかつ事務の手落ちというものが発生してしまいました。申しわけございませんでした。

事前に道庁とこの協議にかかる手続きのスケジュールを見通して、早急に行政常任委員会への報告を申し出るべきだったというふうに思っております。

私からの説明は以上でございます。

(大山委員長)

それではこれより報告に対する質疑を受けてまいります。

(今川委員)

変更前に、もともとCBM活用トライアル調査事業というものがあまして、今回、炭層メタンガス試掘調査事業ということで、追加するようなんですけれども、CBMと炭素メタンガスって恐らく同じもので、どう条項の中に表記揺れのような形になってしまうのかなと思いますけれども。これはこういうものなのでしょうか。

(企画課長)

炭層メタンガスとCBMの表記ということですね。CBMを日本語表記すると炭層メタンガスになるというふうに考えております。そういう趣旨のご質問ですか。

(大山委員長)

なぜ、こう2種類でできているのでしょうか。一つに統一してもよかったのではないかという意味ですよね。

(企画課長)

下のですね。そうですね。失礼しました。

平成30年1月22日

(事務局長)

CBM だったという。今回も CBM のほうが、あえて炭層メタンガスにした理由について聞いていると思う。

(企画課長)

先ほど、申し上げたとおり意味としては同義ですが、事業名として表記がちょっと変わってしまったというところはあると思いますが、問題はないというふうに考えております。

(大山委員長)

よろしいですか。

他にございませんか。

(議長)

お疲れさまでございました。

委員の方からも、確認等出尽くしているようでございますので、最初の理事からの発言を含めて、きょうの会議の取りまとめという意味合いで、要請などをさせていただきたいと思うのですが、先ほど千葉議員のほうからもありましたように、今回の常任委員会、それから本会議という流れを考えますと、やはり 24 日の臨時議会というのも自治法上は招集するのは、これ市長なわけでございますが、今回の一連の経過について申し上げますと、その招集までの段階に議案が整っていない状況であったというふうなことなのだと思うのです。

それで、今色々と事業が多く進められている状況の中、職員の皆様も含めて大変なのは十分承知はしておりますけれども、やはりこういった手続き一つひとつが、色々なことに今回のように影響してくるというふうに思いますので、引き続き先ほどありました議会日程なども念頭に置いていただいて、業務を進めていただきたいというふうに考えますが、その点については、改めていかがでしょう。

(富山理事)

議長の今、発言ございましたけれども、その点含めて重々関係各課と調整しながら、議会日程も踏まえて、事務のほうも確実に取り進めていきたいと思っている状況でございます。

(大山委員長)

よろしいですか。

(議長)

わかりました。それで先ほどちょっと申し上げるのを忘れたのですが、先ほど課長の方から日程的なご説明をいただきました。

そうすると、1 月 12 日にいわゆるその協議が整っているということですか

平成30年1月22日

ら、臨時会までの間は日程的にいうと、休日を除くとわずかな時間ではあったと思うのですが、その中でやはり間に合うような形で、再度になりますが手続きを進めていただきたいということで、今後の答弁は必要ございません。

(大山委員長)

他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

ないようですので、以上で本日予定いたしました案件を全て終了しましたので、行政常任委員会を閉じます。

ご苦労さまでした。

平成30年1月22日

夕張市議会委員会条例第 27 条第 1 項の規定により、ここに署名又は押印する。

夕張市議会 行政常任委員会

委員長 大山 修 二 ㊟